神戸ハーバーランド免疫療法クリニック認定再生医療等委員会 議事概要

認定番号	N	VB5150011	認定年月日			平成 27 年 10 月 7 日
委員会の名称及び	名称:神戸ハーバーランド免疫療法クリニック認定再生医療等委員会					
所在地	所在地:神戸市中央区東川崎町 1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル 14 階					
委員会の開催日時	2024年11月11日 10時~10時30分		委員会の開催場所		場所	神戸ハーバーランド免疫療法クリニック を拠点にテレビ会議
委員の氏名・役職	出欠	氏名	•	性別		所属·資格·役職等
(敬称略)	0	◎ 下平 滋隆		Ħ	医師:金沢医科大学	
委員長:◎	0			男	再生医療学 教授	
出席:○	0	三木 善次		男	医師:三木医院 院長	
欠席:×	0	西村 和郎		男	医師:大阪国際がんセンター 泌尿器科 副院長	
	0	村岡 泰行		男	弁護士: 片山•平泉法律事務所	
	0	小屋 照継		男	金沢	医科大学 再生医療学 助教
	0	吉野 雪子		女	一般	:日本潤東 株式会社
その他出席	神戸ハーバーランド免疫療法クリニック事務局					
議題	1. 本庄メディカルクリニック定期報告					
審查•質疑	 2. 医療法人 有好内科クリニック定期報告 1. 医療機関の管理者である「本庄メディカルクリニック 本庄 孝行 院長」より 2024 年 10 月 9 日に再生医療等の定期報告を受け、以下の審査を行った。 本件における1年間の報告期間 (2023 年 9 月 14 日~2024 年 9 月 13 日)において、当該医療機関における以下の再生医療等 の提供が 0 件であったことにつき、提供機関に問い合わせを行ったところ、当該医療機関から、新型コロナウイルスの影響が長引き、国内および国外ともに 患者の移動自粛が主な理由であると報告された。また今後については、引き続き治療を継続して行く意思が 確認された。この回答に対して適切との判断がなされ、全会一致で本再生医療の提供継続は適切と判断した。事務局「全ての計画において提供がなかったが、次年度以降も継続してよろしいでしょうか?」 委員全員「はい。」 2. 医療機関の管理者である「医療法人有好内科クリニック 有好 浩一 院長」より2024年11月9日に再生医療等の定期報告を受け、以下の審査を行った。以下、数字の読み上げ、症例報告以外に特記すべき点を挙げる。事務局「樹状細胞ワクチン療法、活性化Tリンパ球療法において、1件ずつ該当者がおり、有害事象の報告を受け、発赤の確認が見られた。こちらは、併用している患者様です。PS は進行しています。その他、安全性、科学的妥当性等に問題はないと考えられるので、次年度以降も継続してよろしいでしょうか?」 					

	事務局「NK 細胞療法においては提供がなかったが、次年度以降も継続してよろしいで
	しょうか?」
	委員全員「はい。」
	以下、委員全員の意見として、相違なしとする。
	本庄メディカルクリニック(管理者 院長 本庄 孝行) 定期報告
	以下に掲げる再生医療等について、各種関連法、通知、指針等に鑑み、本再生医療等
	の継続について瑕疵等がないと判断し、本再生医療等の提供継続は適切であると認め
	ప .
	● 計画番号: PC5160081「悪性新生物の治療及び再発予防を目的にした樹状細胞ワクチン療法」
	● 計画番号: PC5160082「悪性新生物の治療及び再発予防を目的にしたナチュラルキラー細胞療法」
	医療法人有好内科クリニック(管理者 院長 有好 浩一) 定期報告
定期報告における	以下に掲げる再生医療等について、再生医療等を受けた者の数、疾病等の発生状況及
委員会の意見のま	びその後の経過、安全性及び科学的妥当性について定期報告を受け、問題ないことを
とめ	確認したため次年度以降も継続して問題ない。
	● 計画番号: PC6180011「悪性新生物の治療及び再発予防を目的にした樹状細胞ワクチン療法」
	● 計画番号:PC6180012「悪性新生物の治療及び再発予防を目的にした活性化 T リンパ
	球療法」
	以下に掲げる再生医療等について、各種関連法、通知、指針等に鑑み、本再生医療等
	の継続について瑕疵等がないと判断し、本再生医療等の提供継続は適切であると認め
	వ 。
	● 計画番号: PC6180013「悪性新生物の治療及び再発予防を目的にしたナチュラルキラー細胞療法」